



エルグランド(E51)

ESM:2004年(平成16年)08月～

テキスト(タイトルのみ):

現象コード

DTC

総説

エンジン

エンジン本体

潤滑システム

整備情報

準備品

エンジンオイル

点検

交換時期

交換要領

オイルフィルター

オイルポンプ

サービスデータ

冷却システム

エンジンコントロール

燃料システム

排気システム

アクセルコントロール

トランスミッション/トランスアクスル

ドライブシャフト/アクスル

サスペンション

ブレーキ

ブレーキシステム

整備情報

作業上の注意

準備品

ブレーキペダル

ブレーキフルード

交換時期

車載上の点検

抜き取り、注入

エア抜き

ブレーキハイピング・ブレーキホース

ブレーキマスターシリンダー

負圧式ブレーキブースター

バキュームハイピング

フロントディスクブレーキ

リヤディスクブレーキ

サービスデータ

パーキングブレーキ

ブレーキコントロール

ステアリング

乗員保護装置

ボディー

空調

電装

ブレーキ - ブレーキシステム - 整備情報 - ブレーキフルード

エア抜き

注意:
エア抜き作業はマスターシリンダーの液面のレベルに注意しながら行うこと。

- 1 キースイッチをOFF位置にし、ABSアクチュエーター・C/U又はVDC/TCS/ABS C/Uのコネクターを外す。
- 2 リヤ左輪のエアブリーダーにビニールチューブを接続する。
- 3 ブレーキペダルを一杯まで4～5回踏み込む。
- 4 ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、エアブリーダーを緩めエアを出し、素早く締め付ける。
- 5 エアが出なくなるまで手順3～4の作業を繰り返す。
- 6 エアブリーダーを規定トルクで締め付ける。フロントディスクブレーキ [図 \(AD35VB\)](#) /リヤディスクブレーキ [図 \(AD14V\)](#) を参照すること。
- 7 次に手順2～6の作業要領で、マスターシリンダーのリザーバタンク内に半分以上の量があるように補充しながらフロント右輪、リヤ右輪、フロント左輪の順にエア抜き作業を行う。